

がん・生殖医療の現状と課題 ～医療連携の全国展開に向けて～



開催日時 **2017年11月3日(金・祝)**
9:30-16:05

開催場所

岐阜大学サテライトキャンパス 〒500-8844 岐阜市吉野町6-31
岐阜スカイウイング37 東棟4F

対象

がん診療拠点病院・生殖補助医療登録施設の医療従事者・臨床心理士または心理支援担当者

定員

130名 申込締切 9月30日(土)
(席数に限りがございますので、事前登録頂ければと存じます)

参加費

3,000円 (当日払い)

プログラム

9:30-9:45	ご挨拶: 堀部 敬三 (国立名古屋医療センター 臨床研究センター長) 森重 健一郎 (岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野 教授) 森岡 久尚 (岐阜県健康福祉部 部長)
9:45-11:45	PART1 がん・生殖医療の光と陰
(9:45-10:15)	1) 生殖医療の現状と今後の展望 演者: 大須賀 穰 (東京大学大学院医学系研究科産婦人科 教授) 座長: 森本 義晴 (HORACグランフロント大阪クリニック 院長)
(10:15-11:15)	2) 生殖医療の臨床的、社会的懸念事項 演者: 桑原 章 (徳島大学医学部産婦人科 准教授) 塚田 敬義 (岐阜大学病院 教授/臨床倫理室 室長) 水沼 直樹 (亀田メディカルセンター 弁護士) 座長: 吉村 泰典 (慶應大学 名誉教授/内閣官房参与)
(11:15-11:45)	3) 日本癌治療学会ガイドラインの概要 演者: 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授) 座長: 森重 健一郎 (岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野 教授) 三善 陽子 (大阪大学大学院医学研究科小児科科学 講師)
11:45-12:50	休憩&フリーディスカッション
12:50-16:00	PART2 国内の現状と動向
(12:50-13:20)	4) AYA世代の総合的がん対策(堀部班)での妊孕性に関する研究報告 ・がん・生殖医療連携の国内での現状 演者: 古井 辰郎 (岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野 臨床教授) ・ナビゲータ制度の提案 演者: 高井 泰 (埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 教授) ・公的支援、資料の活用 演者: 木村 文則 (滋賀医科大学産婦人科学 准教授) 座長: 中塚 幹也 (岡山大学医学部保健学科 教授) 北島 道夫 (長崎大学産婦人科学 准教授)
(13:20-15:30)	5) 地域におけるがん・生殖医療連携の現状と課題 ・オーバービュー① 演者: 村上 節 (滋賀医科大学産婦人科学 教授) ・オーバービュー② 演者: 加藤 雅志 (国立がん研究センター中央病院 相談支援センター長) ・ワークショップ 演者: 二村 学 (岐阜大学腫瘍外科学 准教授) 木藤 克之 (滋賀医科大学血液内科 病院教授) 刈谷 三月 (岐阜大学病院 化学療法室 看護師長) 宮地 充 (京都府立医科大学小児科学 助教) 杉浦 博士 (名古屋市立西部医療センター-乳腺内分泌外科 部長) 濱嶋 なぎさ (名古屋第一赤十字病院 相談員) 指定発言: 梶山 広明 (名古屋大学産婦人科学 准教授) 座長: 川井 清考 (亀田総合病院生殖医療科 部長) 太田 邦明 (那須赤十字病院産婦人科 第一産婦人科副部長)
(15:30-16:00)	6) がん患者の妊孕性温存に関する経済負担と支援のあり方について ～平成28年度厚生労働省子ども子育て支援事業調査研究から～ 演者: 高井 泰 (埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 教授) 座長: 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授)
16:00-16:05	閉会挨拶: 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授)

